



松ぼっくり



築地小HP

学校HP <https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp/> e-mail tsuiji-es@tainai.ed.jp

学び合い 認め合い 鍛え合う子

令和6年1月26日 発行

キャッチボールを大切にしてい層飛躍の年に

校長 小川 泰文

この度の能登半島地震で被災された方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

冬休みを終え、冷え切った校舎に松の子の熱気と元気な声が帰ってきました。家族との触れ合いや自由に遊んだことの満足感でしょうか、3学期のスタートは、どの子も笑顔です。新年を迎え、松の子と皆様にとって飛躍の年になるよう祈念します。

さて、冬休み中に大谷翔平選手からの贈り物（グローブ）が本校にも届きました。子どもたちに向けたスター選手からの手紙には、次のように書かれていました。

「私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。」と。

この言葉は、単に野球の普及ということではなく、子どもたちがそれぞれの夢の実現に向かっていくことへの応援だと感じました。松の子が夢や目標に向かって努力し、飛躍の年になってほしいと願います。そして、大谷選手のように、いずれは自分の夢を実現しながら、社会に貢献し、時代を支えていってほしいと思います。

ところで、キャッチボールは一人ではできません。相手が必要です。また、上手にできるまでにはある程度の練習が欠かせません。相手がとりやすいところに投げることをお互いすることによって、心地よいやり取りが生まれます。思わぬ速球を投げたり、手の届かないところに投げたりしては、心地よいどころかキャッチボールそのものが成立しません。

コミュニケーションも「言葉のキャッチボール」と例えられることがしばしばあります。自分の思いは、分かりやすく温かみのある言葉によって、相手が心地よく受け取ることができます。予告なしの変化球のように、分かりにくい表現や相手の気持ちを考えない言い方はコミュニケーションとは程遠いものになってしまいます。

以前、初めて会った人とキャッチボールをすることになった経験があります。言葉はほとんど交わさずとも、互いに相手の胸をねらってボールを投げることを繰り返すうちに、心の距離が縮まっていくように感じた覚えがあります。

キャッチボールには、そのような不思議な力があります。単に運動であることにとどまらず、コミュニケーションでもあることを実感しました。

年頭にあたり、あらためて子どもたち一人一人との心のキャッチボールを大切にしたいと考えます。子どもの思いをしっかり受け止め、大人の思いも明確に伝える。双方向のやり取りを繰り返しつつ、互いに成長していく。一球一球を大事に。そして、こうした大人の姿勢が子どもたち同士にも伝わるように。

本年も、皆様方とともに職員一同取り組んでいく所存です。一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年度の学校評価(2学期末)の達成状況をお知らせします

築地小学校の教育活動に対して、保護者、地域の皆様から多くのご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。児童一人一人の知・徳・体の成長を確かなものにするため、各領域で成果目標を設定し、教育活動の充実を図っています。いただいた評価やご意見等をもとに今後も取組を工夫改善し、「学び合い 認め合い 鍛え合う」子の育成に努めてまいります。

1 「思いや考えを伝え合い、学び合う子ども」の達成状況

①「国語」「算数」の単元テストで、全国平均点以上の子が80%以上。⇒2学期 国語 80.3%【B】、算数69.7%【C】

②「郷土愛をもち、胎内市や地区、学校のよいところを言える」子が85%以上 ⇒2学期 83%【B】

成果目標①については、国語は14%、算数5%、達成率がアップしました。個人や学級が苦手としている学習内容を割り出し、授業やぐんぐんタイムを利用して学習改善に取り組んだことで一定の成果が見られました。特に算数に重点を置き、各学年、各単元の内容が定着するように、児童の実態に即した指導を工夫していきます。家庭学習のご協力、引き続きよろしくお願ひいたします。

成果目標②については、アンケートで肯定的評価をした児童が83%でした。85%には届きませんでしたが、胎内市内の人や産業を生活や総合の学習で取り上げたり、校外学習を行ったり、地域の人材を活用して講師を招いたりしたことは、児童が自分の住んでいる地域に興味をもち、進んで考えるきっかけになりました。児童が郷土愛をもてたと実感するためには、発達段階に応じて「郷土愛とはなにか」について価値付けていく必要があります。楽しかったで終わるのではなく、児童が具体的なイメージとして郷土愛を実感できるような活動を進めていきます。

2 「かかわり合って、互いのよさを認め合う子ども」の達成状況

①学校が楽しいと言える子を85%以上にする。⇒1学期 93.0%【A】

②進んであいさつしたり返したりできる子を90%以上にする。⇒1学期 94.2%【A】

(参考) 学校評価保護者アンケートで肯定的評価をした保護者の割合 …… 78%

成果目標①については、アンケートで肯定的評価をした児童は93.0%と目標を達成しています。今後も全職員で児童の情報を共有しながら、学校全体でいじめの防止に努めます。また、縦割り班活動を通した温かい人間関係づくりや活動の振り返りを通した自己有用感の向上に力を入れていきます。

成果目標②については、アンケートで肯定的評価をした児童は94.2%と目標を達成しています。1学期は「自分らしいあいさつ」を合言葉に、声の大きさは違っても自分なりの挨拶をする姿が見られました。今後も繰り返し継続した指導を行い、自主的に挨拶する態度を育てていきます。家庭、地域の皆様も、子どもたちに積極的に挨拶していただきますようお願いいたします。

3 「健康に関心をもち、規則正しい生活をする子ども」の達成状況

①健康な生活(メディア)について考え、行動することができる子を85%以上 ⇒2学期84.2%【B】

②自分の運動技能や体力の伸びを実感できる子を85%以上 ⇒2学期 88.3%【A】

成果目標①については、アンケートで肯定的評価をした児童は84.2%となり、B評価となりました。1学期(86.9%A評価)と比較し、2.7%減の結果となりました。保護者アンケートでも、前期と比較し、大きく達成割合が落ちています。また、松の子チャレンジ週間の結果からも、特にメディア使用について

課題があります。先日の学校保健委員会でも、学校医さんからメディア使用による視力低下のリスクについても話題が上がっていました。メディアとの付き合いは切っても切れない社会情勢になっていることも踏まえ、適切に付き合いしていくことができるよう、授業などで考える機会を設けていきます。保護者の皆様からのご協力をお願いします。

成果目標②については、アンケートで肯定的評価をした児童は 88.3%と目標を達成しています。1学期と比較し、減少した結果になっていますが、持久走や鉄棒運動などの学習内容による要因も考えられます。個々の技能差が生じやすい学習内容であっても、教師同士の情報交換や授業における活動方法の工夫、ICT機器の利活用などにより、向上できるよう取り組んでいくことに加え、3学期も、縄跳びチャレンジなどを通して体力アップを図っていきます。

2学期末保護者アンケートの結果より *回答数 115名(66%)

1学期末と同様に、全体的に肯定的な評価をいただき、ありがとうございます。今後の励みとしていきます。中でも、設問 16、17 については、外で遊んだり、運動したりすることが少ない季節であることも関係しているかと思いますが、早寝・早起き・朝ごはんの大切さ、運動の大切さなど、学校と家庭で児童に働きかけていきたいです。そして、現在の学年の学習内容がきちんと身に付くよう、また、地域を愛する心が育つよう、各教科の学習、総合的な学習の時間の一年間のまとめをしていきます。

A:よい B:どちらかというといよい C:どちらかというといよくない D:よくない (%)

アンケート項目		A	B	C	D	肯定評価 (前回比)
1	学校は、特色ある学校づくり(思いや考えを伝え合い学び合う授業づくり、学習習慣や生活習慣の確立、松の子グループ活動等による人間関係づくり、地域とかかわる教育活動)に努めている。	60	38	2	0	98(-2)
2	学校は、一人一人の子どもの理解に努め、個に応じた適切な指導を行いながら、よいところや努力を適切に評価している。	57	35	8	0	92(-4)
3	学校は、学年懇談会や地区懇談会等を通じ、保護者や地域と情報を共有し、教育活動に生かしている。	48	46	5	1	94(-1)
4	学校は、学校だより、学級・学年だより、ホームページ等で、教育活動や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている。	59	37	2	2	96(-2)
5	健康教育(歯みがき指導や食育等)、保健だよりの発行は、子どもたちの健康面の向上に役立っている。	63	35	1	1	98(-2)
6	学校は、指導方法や教材等の工夫による分かりやすい授業、苦手な内容の補充学習や個別学習、学年テスト実施(1~3年生)等の取組により、学力向上に努めている。	46	47	5	2	93(-4)
7	学校は、郷土愛(ふるさとを愛する心)を軸としたキャリア教育の推進に努めている。	62	33	4	1	95(-4)
8	お子さんは、授業が分かり、学習したことが身に付いている。	30	63	6	1	96(-3)
9	お子さんは、胎内市や自分が住んでいる地域を愛する心が育っている。	30	57	12	1	87(-5)
10	お子さんは、家庭学習強調週間の取組を通して、家庭学習(学年数×10分)に取り組んでいる。	38	43	17	2	83(-2)
11	お子さんは、学校が楽しいと感じている。	62	34	2	2	96(-1)
12	お子さんは、家庭や地域で自分から進んであいさつをしている。	24	53	22	1	88(-1)
13	お子さんは、相手の気持ちを考え、言葉づかいに気を付けている。	29	65	5	1	92(+2)
14	お子さんは、学校生活を通して、「いじめをしない・見逃さない・許さない」等の人権を尊重する心が育っている。	58	39	3	0	98(-1)
15	お子さんは、相手の気持ちを考えて思いやりのある行動ができる。	32	63	5	0	96(-1)
16	お子さんは、早寝・早起きをする、朝ごはんをきちんと食べる、メディアの時間を守るなど、健康な生活を意識している。	20	54	24	2	83(-9)
17	お子さんは、めあてをもって進んで体を動かしたり、運動に取り組んだりしている。	26	39	30	5	65(-10)
18	家庭では、お子さんと将来の夢や目標について話し合っている。	24	49	22	5	81(-8)

<自由記述より>

全て掲載できず申し訳ありません。皆様からいただいたご意見につきましては、今後の学校運営等に生かしていきます。

〔お子さんが成長したと思われること〕

- ・親が帰宅する前に自分で宿題や次の準備をするようになった。自分で起床できるようになった。(1年)
- ・知らない人にも挨拶したり、店員さんに質問したりするようになった。町探検、いじめ防止の話など、学校で体験したこと、学んだことを話してくれるようになった。(2年)
- ・人を思いやる行動ができるようになった。社会科見学をとおしているいろいろな知識が身に付いた。(3年)

- ・自分の思いや考えを伝えてくれることが増えた。相手の気持ちを考えた行動が増えた。（4年）
- ・家庭学習の時間を決めて進んでやるようになった。いじめを見逃さない気持ちが強くなった。（5年）
- ・友達を思いやる気持ちがよく表れている。挨拶など基本的なことが身に付いている。（6年）

〔学校の教育活動に関する意見要望〕

- ・中履きは色を白にするなど条件を付ければ自由に選べるようにしてほしい。0.5cm刻みのサイズがないなど不便な面がある。→販売業者と連絡をとりながら、内履きの指定を無くすことを今後検討していきます。
- ・アートフェスティバルの午後の一般鑑賞を16時までにしてもらえると、中学生も合唱祭後に鑑賞できる。→中学生も鑑賞できるように、16時までには可能です。ご意見ありがとうございました。
- ・学校生活の写真をもっと販売してほしい。
→卒業アルバム作成のために、作成業者が写真を撮影しており、それを一部写真販売としています。そのため、写真販売を主たる目的として撮影しているわけではなく、今回の要望にお応えすることは難しいです。ご理解ください。

1月11日 校内書き初め会

練習の成果を生かし、一筆一筆、一画一画、気持ちを込めて書きました。地域ボランティアの方から当日も指導にいただきました。



1/17~1/31 校内書初展



学校ブログ日々更新中！
築地小ホームページを
ご覧ください！

